

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公表番号】特表2004-509858(P2004-509858A)  
 【公表日】平成16年4月2日(2004.4.2)  
 【年通号数】公開・登録公報2004-013  
 【出願番号】特願2002-516054(P2002-516054)  
 【国際特許分類第7版】

C 0 7 K 16/18  
 C 1 2 N 15/09  
 G 0 1 N 33/53  
 // G 0 1 N 33/483

【F I】

C 0 7 K	16/18	Z N A
G 0 1 N	33/53	D
C 1 2 N	15/00	A
G 0 1 N	33/483	C

【手続補正書】  
 【提出日】平成15年12月5日(2003.12.5)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

変性した有蹄類PrP<sup>S</sup>および天然の有蹄類PrP<sup>C</sup>に対して10<sup>8</sup> l/モル以上の結合親和性K<sub>a</sub>で、および天然の有蹄類PrP<sup>S</sup>に対して10<sup>6</sup> l/モル以下の結合親和性K<sub>a</sub>で結合する能力により特徴付けられ、有蹄類以外の哺乳類のPrP<sup>C</sup>には結合しないことによりさらに特徴付けられる単離抗体。

【請求項2】  
抗体が(HaM)FabPである、請求項1記載の抗体。

【請求項3】  
抗体が(HuM)FabSである、請求項1記載の抗体。

【請求項4】  
変性したウシPrP<sup>S</sup>および天然のウシPrP<sup>C</sup>に対して10<sup>8</sup> l/モル以上の結合親和性K<sub>a</sub>で結合し、天然の有蹄類PrP<sup>S</sup>に対して10<sup>6</sup> l/モル以下の結合親和性K<sub>a</sub>で結合する能力により特徴付けられる単離抗体。

【請求項5】  
 以下の段階を含む方法によって生産される、天然の有蹄類PrP<sup>C</sup>に特異的に結合する抗体：

ファージ上に抗体ライブラリーを合成する段階；

ファージと、有蹄類PrPタンパク質を含む組成物を接触させることによって、試料に対してライブラリーをパニングする段階；

天然の有蹄類PrP<sup>C</sup>に結合するファージを単離する段階であって、該抗体が、変性した有蹄類PrP<sup>S</sup>および天然の有蹄類PrP<sup>C</sup>に対して10<sup>8</sup> l/モル以上の結合親和性K<sub>a</sub>で、および天然の有蹄類PrP<sup>S</sup>に対して10<sup>6</sup> l/モル以下の結合親和性K<sub>a</sub>で結合する能力により特徴付けられる段階；ならびに

単離されたファージを解析して $\text{PrP}^{\text{C}}$ が結合するアミノ酸配列をコードする配列を決定する段階。

【請求項 6】

ファージ上の抗体ライブラリーが以下の段階によって調製される、請求項5記載の抗体：  
免疫応答を生じさせるために、宿主哺乳動物を $\text{PrP}$ タンパク質で免疫する段階；  
抗体産生を担っている細胞を該宿主哺乳動物から抽出する段階；  
宿主哺乳動物の該細胞からRNAを単離する段階；  
該RNAを逆転写してcDNAを生成する段階；  
プライマーを用いて該cDNAを増幅する段階；および  
抗体がファージ上で発現するように、該cDNAをファージディスプレイベクターに挿入する段階。

【請求項 7】

方法が、リボソームに分散させた抗原に対する抗体をパニングする段階をさらに含む、請求項5記載の抗体。

【請求項 8】

リボソームに分散させた抗原が、 $\text{PrP}^{\text{Sc}}$ では入手できない $\text{PrP}^{\text{C}}$ のエピトープをコードするペプチドである、請求項7記載の抗体。

【請求項 9】

リボソームに分散させた抗原がウシの残基90～120位を含む、請求項7記載の抗体。

【請求項 10】

変性したウシ $\text{PrP}^{\text{Sc}}$ および天然のウシ $\text{PrP}^{\text{C}}$ に対して $10^8$  l/モル以上の結合親和性 $K_a$ で結合し、天然のウシ $\text{PrP}^{\text{Sc}}$ に対して $10^6$  l/モル以下の結合親和性 $K_a$ で結合する能力により特徴付けられ、有蹄類以外の哺乳類の $\text{PrP}^{\text{C}}$ には結合しないことによりさらに特徴付けられる単離抗体。